

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。	全て強制的にやってしまうのは良くない。 必要でないという人には、申し込んだときに対応できる設備を住居の拠点まで用意しておけばよい。 今まで建設・保守・運用をやってきた高いノウハウのあるNTTにやらしてもらえばよい。
2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。	利用者にとって低廉な価格は一番であるが、いいとこどりをして低価格というのはおかしい。 NTTは基盤研究に長期構想で技術開発をし相当額基礎投資をやっている。また、ある部分あまねく公平を唱われ 離島・山間部のような高コストばかり残して高収益(光ブロードバンド等)を除いてしまうのは不公平である。 技術は継続性があり、競い合ってこそいいものが生まれてくる。 活性化は其中で付随的に出てくるものである。